

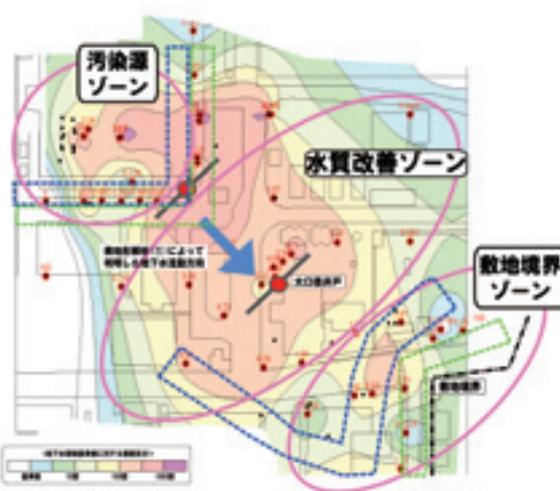
環境関連事業の展開 (その2)

土壌環境調査と重金属汚染土壌の浄化事業

三井金属グループでは、資源開発で培った地盤に関する知識や経験をベースに、土壌・地下水汚染の調査及び対策に取り組んでおります。

地下は、砂や粘土など幾層もの地層が重なってできており、汚染物質は地中で複雑に移動し、予想外の範囲に広がっている場合もあります。そのため、地下の情報を正しく把握し、適切に解析することが重要となります。土壌環境調査では専用ボーリング機械を自社保有し、現地調査から解析業務までを直営化することにより、より信頼性の高い調査を目指しております。右図は土壌汚染調査に基づいた対策事例です。

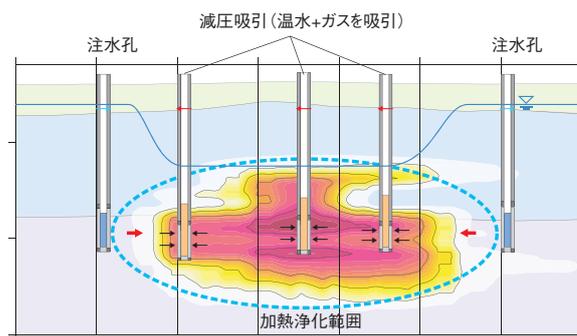
また、土壌汚染の1つである揮発性有機化合物土壌汚染 (VOC汚染) の対策は、大口径&横孔掘削システム、二次汚染を防止する孔井の掘削や改修、加熱吸引による現位置浄化などがあります。加熱吸引法は高濃度に汚染された難透水性・難通気性の地盤を加熱し、減圧吸引することによりVOCのガス化を促進させ、早期浄化を実現するシステムです。



土壌汚染調査に基づいた対策事例



環境調査ボーリング



加熱吸引法による浄化対策模式断面図

環境汚染防止に役立つ事業

三井金属の触媒事業部は自動車・オートバイから排出される排気ガスをクリーン化する触媒を生産しております。

近年、排気ガス規制が一段と強化される中、触媒に対するアジア地域の需要は、今後さらに増加するものと考えられ、既に日本、インド、タイに拠点を置き2007年10月からは中国での操業を開始し、各地域での当事業発展への期待は高まっております。これからもトップシェアで市場をリードするとともに、排気ガス浄化用触媒を通じ自然環境と調和した社会貢献活動を続けてまいります。



排気ガス浄化用触媒外觀